

ROTARY WEEKLY

HIROSHIMA KUKO ROTARY CLUB WEEKLY



広島空港ロータリークラブ週報

会長 鶴田幸彦 / 副会長 乗越耕司 / 幹事 橋濱智美 / SAA 河井一郎

2016年4月27日発行

事務所 〒729-0417 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会内2F

TEL 0848-86-0986・FAX 0848-86-0992・E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp・http://hiroshima-kuko-rotary.jp/

例会場 〒729-0416 三原市本郷町善入寺64-25 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111 FAX 0848-86-9222

MEY 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 休会 例会 例会 休会

本日の例会（4月27日） 楠部 滋 会員 『北風と太陽』と認知症	次回の例会（5月11日） クラブ協議会 『本年度活動報告』
---	--

2016年4月13日 例会記録

点 鐘…鶴田幸彦 会長

ソング…「それでこそロータリー」

出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (4/13)	24 1	21	0	3	87.50
メイク					
前々回 (4/2)	23 1	12	7	3 (1)	86.36
メイク	大下・大塚・澤井・玉川・灰谷・河井・川本				

食事時間

MENU

水菜と大根サラダ

金時豆のスープ

白身魚のクリーミームース香草パン粉焼き

パン

コーヒーor 紅茶



会長時間

地区補助金申請の進捗状況のご報告です。3月30日現在、2710地区74クラブ中、当クラブを含め、16クラブからの申請がありました。今月6日の第1回審査委員会を無事通過し、20日の第2回審査委員会



を経て交付決定となる見通しです。小規模クラブの適用もお願いしておりまして、もしこの適用が受けられれば、地区補助金の額が¥160,000、クラブ負担金が¥113,304となります。小規模クラブにつきましては、原則、会員数20名以下のクラブとなっておりますが、地区財団委員会のお取り計らいで、これまでの当クラブの寄付金状況等を勘案しての結論となりそうです。

4月10日、竹原RC主管の4クラブ合同ゴルフコンペが安芸C.Cで開催されました。当クラブからは7名ご参加いただきました。ありがとうございました。大塚さん、優勝おめでとうございます（OUT42・IN40・GROSS82・HDCP10.8・NET71.2）。玉川さんがドラコン1つ、佐々木さんがドラコン1つとニアピン2つで賞品を独占してまいりました。大塚さん以外は、下位に沈んでおります。三好さん15位、鶴田秀さん16位、楠部先生17位、玉川さん19位、佐々木さん21位、私が23位のブービー賞。以上、ご報告でした。

さて、先週土・日曜日と広島でG7先進国首脳サミットが行われましたが、ここ空港周辺も重層な警備でした。4クラブ合同ゴルフコンペの時にも検問にかかった方がおられたようです。警察官は、検問で停めた

車のどこを見ているかご存知ですか。警察官は、車を止めると必ず運転手に免許証の提示を求めてきます。免許証を見るといっても、その記載事項や写真を詳しく見ているわけではありません。検問中、警察官が注意を払っている点は、運転者の態度と、クルマの中に不審人物が潜んでないか、不審物が隠されてないかの3点だそうです。つまり、車両検問で免許証の提示を求めるのは、車内の人物の表情や態度を観察するための「口実」であるようです。善良な人間であれば、悪いことをしていれば直ぐに態度に表れるというところなのでしょう。私も嘘をつくといつもすぐ女房にバレるのですが、その時女房に「目が北島康介になってますよ～」と言われます。

幹事報告

《配布物》週報1026号

《お知らせ》

沼田川クリーンキャンペーン4月24日(日) 8:30 集合

卓話時間



松本会長エレクト

「会長エレクト&地区チーム研修セミナー報告」

2016-17年度の会長を務めさせていただきます会長エレクトの松本です。よろしくお願いたします。3月6日(日)10:00~18:45 ホテルグランヴィア広島でPETSが開催され出席してまいりました。ガバナーエレクトの田原栄一様は、私がガバナー補佐を務めさせていただいた2008-2009年度の時、第7グループのガバナー補佐(広島中央RC)です。

2016-17年度国際ロータリー会長

ジョン・ジャーム (アメリカ チャタヌーガRC)

■2016-17年度RI会長テーマ

原文英語 「Rotary serving humanity」

日本語訳 「人類に奉仕するロータリー」

111年の歴史の中で、ロータリーは多くの人に多くの意味を持ってきました。会員は、ロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びととの絆を育み、キャリアを築き、ほかでは味わえない貴重な経験をしてきました。毎週、世界34,000以上のクラブのロータリアンが、語らい、笑い、アイデアを

分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」の為です。

■JOHN GERM 次期RI会長の強調事項

- 会員の増強と維持
- 財団への寄付
- オンラインツールの利用
- 新世代
- 公共イメージ

2016-17年度 ガバナー信条

「奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」

上記ガバナー信条に掲げた「奉仕」は、ロータリーの目的である「職業奉仕」であり、その意図することは、二つあります。その一つは、職業奉仕の実践強化であり、もう一つは、がん予防の推進。

前者の職業奉仕の実践には、二つの行動指針が必要です。即ち、一つは「ロータリアンの行動規範」の遵法、もう一つは「四つのテスト」を言行です。それらは、職業倫理の高揚と人格の向上を惹起させ、究極的に我々に幸福(幸せ)を齎すからであります。まさに、それは、ポール・ハリスのいう「奉仕の生活」は「幸福の生活」を意味し、平和に繋がります。

後者のがん予防の推進は、6つの重点分野の一つ「疾病予防と治療」に相当し、その目的は、ロータリアン自身及び高齢者社会のニーズを満たす奉仕活動「がん予防の普及推進」の実践を通じて、がんになっても安心して働き暮らせるよう、自己責任に基づく健康管理を目指すものです。その具体的な活動方針は、我々ロータリアン一人ひとりが、がんは「生活習慣病」として把握し、がん一次予防(禁煙と食生活改善)、がん二次予防(がん検診率・がん早期治療)、そして青少年へのがん教育に真摯に取り組むことにあります。

強調したいことは、がん予防とがん教育は、健康に生きるための地域づくりであり、ロータリアン自身のみならず、家庭、職場、地域社会の人々の命を守り、さらに、ロータリーの将来を担う次世代の人達が健康に生きるために必要なことでもあります。将来、国際ロータリー第2710地区が我が国で最もがん罹患率・がん死亡率が低く、早期発見・早期治療によりがんになっても、幸福の生活を過ごせる地区になることを実現しようではありませんか。

2016-17 年度ロータリー目標

優先事項 1：クラブのサポートと強化

- 目標 1 最近の退職者および若い職業人の会員増強
- 目標 2 会員の積極的参加とクラブの充実化を図り、全会員維持の向上
- 目標 3 会長賞へのクラブ参加を増やす
- 目標 4 ロータリー財団に対するロータリアンの知識・参加・寄付を向上

優先事項 2：人道的奉仕と重点化と増加

- 目標 5 永久にポリオを撲滅
- 目標 6 年次基金へのクラブ寄付平均、および財団補助金への DDF 拠出を高める
- 目標 7 ポリオ撲滅への支援を続けるために、クラブと政府からの寄付を増やす
- 目標 8 財団の補助金と 6 つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める
- 目標 9 青少年や若いリーダーの支援、およびロータリーの 6 つの重点分野と関連したプログラムや活動の持続可能性を高める

優先事項 3：公共イメージと認知度の向上

- 目標 10 ロータリーに対する人びとの認識を高める
- 目標 11 ロータリーの功績と、「世界でよいこと」をしてきた財団の 100 年の歴史について広報

ロータリーは『職業奉仕』

最もよく奉仕するもの 最も多く報いられる
Service Above Self
超我の奉仕

ロータリーとは？

謙虚な姿勢で自己研鑽し、自らの職業倫理を高め、社会に貢献する人の集う団体。

国際ロータリーが世界的人道奉仕へ大きく舵を来る中で、ロータリーの職業人にとって職業奉仕こそ、時代を超えた普遍的で大切な価値観であることをロータリーは再確認

ロータリーの【職業奉仕】は・・・

職業の倫理観・道徳的水準を高め、職業を通じ社会に貢献。

その原点は、

使う人の身になって物を作り

買う人の身になって物を売り

受ける人の身になってサービスする

「相手の立場に立って考え、職業を通じ他人のために役立つ行動をし、謙虚で思いやりのある行為」

無料でものを提供したり、価格を不当に値引きするものではない。

消費者を裏切る背信的行為は、断固あってはならない。

適正な利潤で顧客に満足感を提供し、従業員の待遇を改善し、取引先との関係も良好に保ち、地域社会に貢献する。

利己と、利他の調和

自らの職業に誇りを持ち、自らの職業を存続。

生活するため一定の利益を確保することは当然。『やっていいこと、やってはならないこと』があり、

『利己と、利他の調和』が必要。

人間は生来わが身が一番。より良い社会生活を営むには、常に利己心を薄めるため、心豊かな人間性を養い、謙虚な姿勢で自らの不足を学び、自己を啓発改善し、思いやりの心で他人に尽くす。

この積み重ねが、地域社会の信頼を獲得し、ロータリアンの自信と誇りを高め、ますます『職業奉仕』に邁進。好循環。

利益第一でなく、信用第一！

世界の長寿企業で、わが国の占める割合は著しく多いといわれるが、それらに共通するものは『企業の良心』

因みに、わが国の最も創業の古い企業は、社寺建設の金剛組。生け花・茶道教授業・旅館・清酒製造業など、500 年以上約 160 社、100 年以上約 25000 社。家訓や遺訓には『利益第一ではなく、信用や正直が第一』の精神・伝統が継承。

四つのテスト

- 1、真実かどうか
(嘘・偽り・無理はないか)
- 1、みんなに公平か
(正々堂々筋が通っているか)
- 1、好意と友情を深めるか
(善意と友情に徹しているか)
- 1、みんなのためになるかどうか
(世のため、人のためになるか)

職業倫理を大切にすると人々の集う団体

『職業奉仕』を掲げるロータリーは

職業人の最も優れた倫理運動

職業人の経営哲学

職業人の自己研鑽・啓発の場

現在ほど、ロータリーの『職業奉仕』を必要とするときはない！

各委員会の代表者は、5 月 15 日の地区協議会に参加され、その後次年度の計画を委員会で立てていただきたいと思えます。がんの予防は、3 年継続事業ですのでどうぞよろしく願いいたします。